

まちの話題

あづまバッグ 県知事賞受賞



10月に行われた「2019かごしまの新特産品コンクール」の工芸・生活用品部門で、亀崎染工(有)の「あづまバッグ」が最高賞である鹿児島県知事賞を受賞しました。

「あづまバッグ」は、あづま袋の形をした現代的なショルダーバッグとして仕上がっています。伝統的な手染めの製作技法と鹿児島大学が選定した18色の「かごんまの色」、そして紋や模様などを使って製作されました。

亀崎染工(有)代表の亀崎さんは、コンクール当日まで作業をしていたとのこと、受賞が決まると「うれしさよりも家族や従業員への感謝が大きかった」そうです。

今後は、鹿児島大学との共同開発を行っていくとのこと、「かごんまの色やその色を使った小物類などを広めたい」と抱負を語りました。



上名地区まちづくり協議会稲刈り



10月20日、河内のふれあい農場で上名地区まちづくり協議会の稲刈りが行われました。

6月に手植えした苗が黄金色に色づき、収穫の時期を迎えた田んぼでは、手作業で刈りとり、掛け干しの作業を神村学園の留学生も加わり、にぎやかに行いました。最後におにぎり・豚汁を一緒に食べ秋の実りを体感しました。収穫したお米は今後の行事等でいただく予定です。



技能五輪全国大会出場



第57回技能五輪全国大会に出場を決めた本市在住の新村勇征さんが10月1日、市役所を訪れました。

技能五輪は、ものづくりで与えられた課題を制限時間内に作成し、その出来栄を競います。新村さんは7月5日に行われた技能五輪鹿児島県大会の家具部門で好成績を残し、鹿児島県からわずか2名の出場者に選ばれました。

新村さんは、高校生の時にもものづくりに興味を持ち、宮之城高等技術専門校に進学してさらに腕を磨いています。全国大会では「賞を必ず獲得できるように、1日1日の練習を大切にして自分のベストを出したい」と意気込みを話してくれました。

学校給食に「ちりめん」を提供



10月7日、鹿児島県ちりめん・しらす協議会所属で羽島漁業協同組合の平石良博組合長と平石芳人さんが教育委員会を訪れ、「学校給食に使って欲しい」と、地元特産品「ちりめん」10kgを提供いただきました。

これは、同協議会が子どもたちに本市の特産品である「ちりめん・しらす」に親しんでもらえたらと、串木野地域と市来地域へ交互に毎年提供を続けているものです。この「ちりめん」は、串木野地域の幼稚園、小・中学校で11月25日の献立「じゃこのふりかけ」に使われる予定です。

ありがとうございました。



まぐろの日 もっとまぐろ食べて



鹿児島まぐろ船主協会は、10月10日のまぐろの日に合わせて、天然船凍延縄まぐろのブランド「薩州串木野まぐろ」をPRしました。市内スーパーと鹿児島市でまぐろを通常の半額程度の値段で販売。

市内スーパーでは販売開始前から行列ができ、多くの人でにぎわいました。

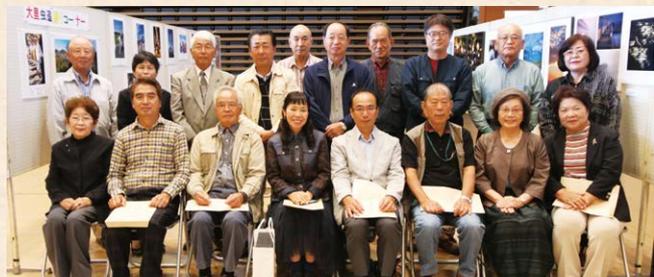
市来町漁協 秋太郎のプレゼント



10月19日、市来町漁業協同組合から市来地域の養護老人施設へ、秋を告げる旬の秋太郎(バショウカジキ)のプレゼントがありました。これは、20年以上前から続けられているものです。

秋太郎の大きさに入所者からは、驚きの声があがっていました。

市来の祭り写真コンテスト



11月2日、「市来の祭り」写真コンテストの表彰式がアクアホールで行われました。

- 【市来の祭大賞】「雨天に響く太鼓と鐘」 内田則夫
- 【祇園祭大賞】「あこがれ」 山崎淳子
- 【七夕踊大賞】「鶴の動力」 大重為映
- 【川上踊大賞】「はれ姿」 大迫豊昭
- 【虫追踊大賞】「実盛の追憶」 駒走信文

※大賞のみ掲載。その他入賞者は、「市来の七夕踊り公式ホームページ」をご覧ください。

魚がいっぱい泳ぐ海を ～アマモシート作成～



10月23日と24日に、串木野小学校と市来小学校の5年生が、アマモの海での役割を学んだあと、30枚(120㎡分)のアマモシートを作成しました。

これは、市内4漁協が一緒になり、アマモという海草の種がくっついたアマモシートを海底に設置し、魚の産卵場所や小魚の住みやすい環境を作り、漁業資源を増やす活動で、平成21年から続けています。

アマモは種を作り、その種が定着していくことで群落を作ります。今までの取組で一部は定着しています。

バレエと合唱のコラボ



10月5日、宝山ホールで県民文化フェスタが行われ、「コールあじさい」と「日高千代子バレエスタジオ」が市文化協会を代表して出演しました。

発表は最初に合唱で始まり、途中からバレリーナが登場し曲に合わせてバレエを披露しました。

県文化協会会長の原口泉氏は、「まるで妖精のようだった」とあいさつの中で賞賛されました。



地かえて祭り開催

10月26日と27日、いちき串木野づくし産業まつり～地かえて祭り～が開催されました。

2日間で、約7万5千人が来場し、たくさんの方が本市の特産品などを楽しみました。

市内から祭りを訪れた宮之原悠人さんと湊人さんの兄弟は、揃って魚のつかみ取りに参加し、2人ともカワハギを捕まえ、「水の中で追いかけて楽しかった。魚を捕まえて嬉しかった」と、笑顔で話しました。

初日には花火も上がり、来場者からは歓声が上がりました。



100歳おめでとうございます。



寺田國雄さん



播磨セツ子さん

9月21日に寺田國雄さん(田中中村)、10月1日に播磨セツ子さん(汐見町)が、100歳の誕生日を迎えられました。

今回、100歳を迎えられたお二人には、市からお祝いの花や記念品などを贈呈しました。現在、本市の100歳以上の方は30名(10月18日時点)です。

いつまでもお元気で長生きしてください。

「ふる里の海づくり事業」開催



10月19日、羽島漁港光瀬港で県内唯一の市民が参加できる稚魚放流事業が開催され、多くの方々がかさご3千尾の放流を体験しました。

放流の他、羽島小学校児童による「海」をテーマにした絵画の展示、海の生き物を入れたタッチプールなども行われました。

式典では、エイサー、羽島保育園園児によるマーチングが披露され、会場は多くの来場者でにぎわいました。

すこやかおせんしのスポーツ大会開催



優勝した照島ブロックの皆さん

すこやかおせんしのスポーツ大会を、9月27日に市総合体育館で開催しました。

市内の高齢者クラブに加入している約600名の「おせんし」の皆さんが地区別のブロックに分かれて参加し、スポーツを通じて親睦を深めました。

- 優勝 照島ブロック
- 準優勝 大里ブロック
- 第3位 上名ブロック

串木野ライオンズクラブ環境奉仕作業



10月10日、串木野ライオンズクラブの会員約50名が参加し、「かもめ公園」を清掃しました。

暑い中、ありがとうございました。

第5回海童旗争奪ソフトボール大会



9月29日、多目的グラウンドで第5回海童旗争奪ソフトボール大会が開催され、秋空の下、8チームの熱戦が繰り広げられました。

B級 優勝 南洲整形外科病院

C級 優勝 串木野養護学校

第5回市長杯公民館交流グラウンド・ゴルフ大会



9月28日、第5回市長杯公民館交流グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。市内各公民館82チーム410名の参加があり、熱戦が繰り広げられました。

○団体の部 優勝 袴田A

準優勝 元町クラブA

第3位 塩屋町

○個人の部 優勝 井亀 平雄(袴田A)

準優勝 新川 和代(塩屋町)

第3位 横須 伸博(元町クラブA)

第14回いちき串木野市民ゴルフ大会



9月8日、入来城山ゴルフ倶楽部で、第14回いちき串木野市民ゴルフ大会が開催され、114名の選手たちが思い思いのプレーを楽しみました。

○優勝 井之上 金治

○準優勝 田邊 喜章

○第3位 播磨 寿

○ベストグロス 松元 誠

第 14 回

市民体育大会



▲ Aクラス優勝 羽島地区



▲ Bクラス優勝 川北地区

10月13日、良く晴れた秋空のもと第14回市民体育大会が盛大に開催されました。
各地区を代表した選手たちが参加し、熱い戦いが繰り広げられました。



体育功労賞	黒木真利子 久木野和彦 平石照代 蓑茂裕子 前屋秀喜 重信尚
優秀選手賞	濱田藏人 バイレ・シンシア 原口倅歩 俣木清閑
優秀団体賞	神村学園中等部（女子ソフトボール部 男子サッカー部 女子サッカー部） 神村学園高等部（駅伝部 女子硬式野球部 女子サッカー部 男子サッカー部 男子硬式野球部 女子ソフトボール部） 串木野FC スポーツ少年団 串木野ドリームズスポーツ少年団

2020年度は、燃ゆる感動がごしま国体・かごしま大会開催のため、中止となります。



清泉女子大 協定締結式

観光交流課 (☎33-5640)



9月27日、東京にある清泉女子大学と連携・協力に関する協定締結式を行いました。

この協定は、地域社会の発展と人材の育成を目的として、教育・文化の振興や教育研究、観光やまちづくりの政策に関するもののほか、学生の研修・交流に関する事で相互の連携を図るために締結したものです。

これは、昨年9月に県などが実施した「南九州カレッジ」の現地研修で清泉女子大学チームが本市を訪問し、最終報告会で本市を大きく取り上げた提案を発表したことがきっかけとなりました。

今後の本市の発展に役立つことが期待されます。

地域おこし協力隊6人目 櫻村さん着任

政策課 (☎33-5634)



10月21日、本市6人目の地域おこし協力隊として、櫻村美代子さんが着任しました。

櫻村さんは、栃木県出身で以前は大阪に住んでいました。地域おこし協力隊として働きたいといういろいろな地域を探していて、鹿児島を訪れた経験などから応募をしたとのこと。

本市では農政課に所属し、特産品直売所「季楽館」を拠点としながら、季楽館の活性化や農業振興、農村活性化に関する活動に取り組んでいきます。

櫻村さんは「農家との橋渡しやいちき串木野のいいものをPRしていきたい。人との関わりを大事にしながら、いちき串木野をもっと知ってもらえるようにしたい」と意気込みを語りました。

冠嶽芸術・文化村構想 地域に「関係人口」を受け入れて元気に「えんたく」始動

政策課 (☎33-5634)



左から えんたくメンバーの小林史和さん(元地域おこし協力隊)、坂口修一郎さん(生冠地区にルーツがあり、地域イベント等を各地で手がける㈱BAGN代表取締役)、三好大輔さん(地域映画を作っている㈱アルプスピクチャーズ代表)

生福・冠岳地区の地域資源を、文化・芸術の切り口で活用し、地域振興を図る「冠嶽芸術文化村」の実現に向け、市外に住みながら、地域と関わりを持ち続けるファン「関係人口」を作り出すプロジェクトが生福・冠岳地区で始まっています。

まずは、映像を切り口に取り組みでいこうと、プロジェクトの推進組織「えんたく」が、10月9日に冠岳交流センターで、地域に眠る8ミリフィルムを収集して作る地域映画の持つ力について語るトークショーを開催しました。

トークショーでは、全国各地で市民参加型の地域映画を作製している三好大輔さんが、「8ミリフィルムに残る映像は地域の人たちが経験してきた資産。地域に残し、世代を超えて共有すべき大切なもので、地域への愛着を高められる」とその魅力を話し、8ミリフィルムの提供を呼びかけました。



8ミリフィルムを手に語る三好さん

関係人口がなぜ必要なの？

地域の人口が減り、活動の担い手が減る中、地域のコミュニティを維持するには、イベントなど地域の活動量そのものを減らし、地域の負担を軽くする一方で、地域に関わる地域外からの人「関係人口」を増やす必要があります。

「関係人口」は、地域の活動に加わったり、地域資源を活用して新たな取組を始めたりと、今後、地域の活力維持に大きな役割を果たしていくことが期待されます。

「えんたく」は、生福・冠岳地区で、様々な活動を展開し、「関係人口」など地域のファン作りをお手伝いする組織です。今後は、8ミリフィルムの収集を続けるほか、2月には生冠地区を特集したフリーペーパー「ALUHI」を発行する予定です。

みんなで作ろう・みんなが主役 ころばん体操5周年記念大会

地域包括支援センター(☎21-5172)



10月25日、ころばん体操が事業開始から5周年を迎え、住民参加型による記念大会を市総合体育館で開催しました。ころばん体操は、住民自身が運営し、人と人とのつながりを通じて通いの場が継続される地域づくりを目指して取り組んできたものです。

大会には、体操参加者を中心に890名が来場し、99歳の田淵ユキエさんをはじめ、90歳以上で体操に参加している38名の方が表彰を受けました。また、事例発表では、市内で最初に取り組んだ島平上公民館がこれまでの取組を発表し、基調講演では、ころばん体操の「本家」である岡山県津山市の安本勝博さんが本市のころばん体操の参加率は全国1位であることや、体操を通じて個人が元気になることで地域が元気になり、ころばん体操を継続することが地域づくりにつながっていくと話しました。

最後は、参加者全員で、ころばん体操とひっかけ体操を行いました。

市はこれからも、10年、15年と継続されるよう、地域の支えあい活動の拠点となるころばん体操を支援していきます。

来館者18万人達成～薩摩藩英国留学生記念館～

観光交流課(☎33-5640)



10月30日、薩摩藩英国留学生記念館の来館者が18万人を達成しました。18万人目となったのは、松山地区民児協の研修で志布志市から来られた中島昭(あき)さん(写真右)でした。中島さんは、「18万人目の幸運に恵まれてラッキーです。家族へ何よりの土産になります」と話しました。

市長の主な動き(10月)

※市長の過去1か月の主な活動を掲載しています。

日にち	内容
10/1(火)	100歳到達者表敬訪問
3(木)	道路整備促進期成同盟会全国協議会理事会(東京都)
4(金)	・青年の集い in 串木野日置記念式典 ・市医師会との懇談会
5(土)	食彩の里いちきくしきのエリア・五反田川河川敷清掃作業
7(月)~9(水)	茨城国体バスケットボール競技視察
10(木)~11(金)	九州市長会理事会・総会(長崎県)
13(日)	市民体育大会
17(木)	九州各県治水砂防協会支部長並びに参与会議(佐賀県)
18(金)	全国環境連全国大会講演・式典・懇親会(鹿児島市)
19(土)	関東羽島つがね会(東京都)
20(日)	ふるさと短歌大会表彰式
23(水)	九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会でのクルーズ船誘致及び串木野新港へのクレーン設置要望(東京都)
24(木)	・経済と暮らしを支える港づくり全国大会(東京都) ・港湾都市協議会意見交換会(//) ・鹿児島県港湾協会との要望活動(//)
25(金)	・市来神社秋季例大祭 ・ころばん体操5周年記念大会
26(土)	・串木野高校文化祭 ・地かえて祭り(~27日) ・優良勤労青少年表彰式 ・串木野花火大会
28(月)	麓南方神社秋季例大祭
29(火)	安全・安心の道づくりを求める全国大会・要望活動(東京都)
30(水)	いちき串木野警察署管内沿岸警備連絡会通常総会
31(木)	女性委員会からの提言書提出・懇談



みんなで学ぶ男女共同参画 ～“YOUメッセージ”から“Iメッセージ”へ～

政策課(☎33-5672)

10月21日、川上小学校で県男女共同参画センターが主催する「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」が開催されました。この事業は、児童・教職員・保護者・地域を対象に一体的なワークショップ形式で行うことにより、学校、家庭、地域で人権意識や男女平等意識を高めてもらうことを目指しています。

参加者は、コーディネーターの高崎恵さんの指示のもと、利き手ではない手で自分の名前を書き、隣同士で見せ合い、感想を話しながら、初めてのことや慣れていないことは誰にとっても難しいことを共有、実感しました。その後、「しゃべらない」「のぞかない」などのルールにより、簡単な絵を書き、グループに分かれ、お互いの気持ちを話し合いました。話し合う際にも高崎さんから、「相手を主語にした自分の主張を話すだけの“Youメッセージ”でなく、後ろにある理由『私はこう考えているけどどうですか』という“Iメッセージ”を大事にしてください」というアドバイスを受け、参加者は私を主語にした“Iメッセージ”を意識しながら話し合いました。

児童ワークショップ



- ・話すときは“わたしメッセージ”で自分の気持ちを言うことが大切だと思った。
- ・高崎さんの言うとおりに絵を書いても、人それぞれの発想があるんだなぁと思った。

- ・違いを大切に仲間づくりが大切だと感じた。「考えが違うことを前提に自分たちのやり方を作り出す力」など、必要な力を身に付けさせる授業づくりが必要だと思った。
- ・これからの時代は間違っても言える力、伝えようとする力が必要で、そのためには“私(I)メッセージ”で対話することが欠かせないと感じた。

教職員ワークショップ



- ・人はいろんな考え方があることはわかっても反論したくなる事もあるが、相手の事を尊重して接していく事の大切さを改めて感じさせられた。
- ・子どもたちのこれからの、少しでもよりよいものになるよう、親として地域の一員として、「共に感じる」を大切にしていきたいと感じました。

保護者・地域ワークショップ



高崎恵さんからのメッセージ

「ちがひ」は間違いや劣っていることではない。「ちがひ」を豊かな発想として受け止め、違っていても共感することが大事。この共感力がこれからの地域を創り上げていく力です。

一人ひとりの個性と力を重ね合わせ、新たな価値(知恵)を生み出し、豊かな地域にしてください。

西郷どんが歩いた黎明の地ウオーク!!

第22回 れいめいウオーク羽島・土川大会

東シナ海、沖ノ島、甌島を一望!
お楽しみいっぱい!

令和元年 **12月8日(日)** 開催

- ① お気軽羽島コース：4km(1時間程度)
- ② 西郷どん万福池コース：6km(1時間半程度)
- ③ 土川健脚コース：12km(2~3時間程度)

★大好評!!

- ・おさ汁(おさんじゆい)の無料振舞い
- ・お楽しみ抽選会
- ・特産品販売コーナー
- ・一番遠くから参加された方へ特別賞を贈呈 (完歩された時のみ)



- 【集合・出発場所】 羽島交流センター前広場
- 【受付】 8:30~ 【開会式】 9:00~ 【スタート】 9:20頃
- 【参加資格】 健康な方ならどなたでも参加できます。
- 【参加料】 無料
- 【駐車場】 羽島小学校校庭・羽島中学校校庭
- 【申込・問合せ】 市民スポーツ課 ☎21-5129 FAX 36-5228

送迎バス ※要予約

- ★市来庁舎出発 7:50
- ★串木野庁舎出発 8:00
- ★串木野駅出発 8:10

(市役所串木野庁舎1階・市総合体育館・串木野体育センター・B & G 海洋センター・市来体育館でも申込書の提出ができます)

事前申込み **12月2日(月)まで(当日受付可)**

- 主 催：いちき串木野市・いちき串木野市教育委員会
- 主 管：大会実行委員会 後 援：いちき串木野市体育協会・南日本新聞社
- ※高齢者元気度アップ・ポイントカードをお持ちの方は持参ください。

市のホームページからも申し込みできます。

----- 切り取り線 -----

第22回 れいめいウオーク羽島・土川大会 参加申込書

ふりがな氏名	年齢学年	性別	住所	保護者印	電話番号	参加コース希望に○印	バス利用希望は○印
						4・6・12km	市来庁舎・串木野庁舎・串木野駅
						4・6・12km	市来庁舎・串木野庁舎・串木野駅
						4・6・12km	市来庁舎・串木野庁舎・串木野駅
						4・6・12km	市来庁舎・串木野庁舎・串木野駅

※ 小学校5年生から中学生のみの参加は保護者の承諾印が必要です。4年生以下の参加は、保護者同伴とします。

誓約書

私事、このたび本大会に参加するにあたり、大会参加に伴い発生した事故及び貴重品管理等については、自己の責任とし、主催者が加入する一日保険の対象外のことについては、主催者に対して一切の迷惑をかけることを誓います。また、大会当日は事故のないように安全を第一とし、自分の健康・安全に十分留意しながらマイペースで歩くことを誓います。

令和 年 月 日

上記誓約書に参加者全員同意します。 申込代表者氏名

Ⓜ

— 令和元年度全国学力・学習状況調査結果と今後の取組 —

平成31年4月18日に実施された全国学力・学習状況調査について、本市の結果の概要をまとめました。主なものを紹介します。

全国学力・学習状況調査とは？

- 児童生徒の学習の状況を把握し、今後の改善に役立てることを目的としています。
- 対象は、小学6年生と中学3年生です。
- 小学校は国語と算数の2教科、中学校は国語と数学と英語の3教科の学力調査と、アンケート調査(学習状況調査)が行われました。
- 本調査で測定できるのは学力の特定の一部です。全ての学力の状況ではありません。
- 今年度から知識を問う問題と活用力を問う問題が一体となり、新しい傾向の問題になっています。

1 本市の学力の状況について (正答率分布グラフ及び課題等は、次ページをご覧ください)

学年	全国との比較(全国平均を100%とした本市平均の状況)		
	国語	算数・数学	英語
小6	99.5%	97.6%	94.5%
中3	92.0%	90.0%	

2 本市の児童生徒の生活の様子について

学年	全国に比べて「当てはまる」と答えた児童生徒が多い項目	
	望ましい回答が多いもの	課題のある回答が多いもの
小6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書が好きである。 ・ 地域の行事に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分によいところがあると思う。 ・ 学校の授業時間以外に勉強する。
中3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に行くのは楽しい。 ・ 将来の目標や夢を持っている。 ・ 読書が好きである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分にはよいところがあると思う。 ・ 学校の授業時間以外に勉強する。



家庭と一緒に心掛けましょう。

- 「早寝・早起き・朝ごはん」に努め、生活リズム表を作成し、規則正しい生活リズムを身に付けましょう。
 - テレビ視聴やゲーム、インターネット、携帯・スマホ利用等の約束を決め、午後9時以降のノーメディアに努めましょう。
 - 家庭学習を始める時刻を決め、計画的に学習できるようにしましょう。
- ※保護者等、家族の支援が必要です。

3 市教育委員会としての今後の取組について

- 各学校の研修を支援し、日々の授業がより充実するよう努めます。 → ○講師を招いての研修、授業の指導方法を改善する研修等
- 市内小・中学校の教員を対象とした研修会を充実させ、教師の指導力向上を目指します。 → ○市学力向上教員研修会
国語、算数・数学の「市教育研究会」等
- 小中一貫教育を推進し、児童生徒の9年間の学習環境を整えます。 → ○中学校教員が小学校で授業を行う「乗り入れ授業」
○中学校区ごとにつくる「学習のきまり」や「生活のきまり」等

〔本市の正答率分布グラフ、課題等について〕

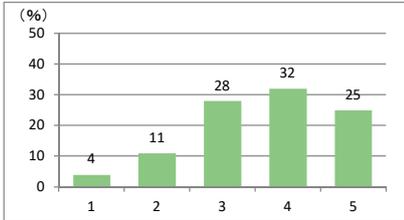
〈グラフの見方〉

○問題の正答率を5つの段階に分けて、それぞれの児童生徒の割合を表しています。

- 例：全部で10問あったと仮定した場合。
- | | |
|---------------------|--------------------|
| 0問～2問正解したら …… 1の段階 | 3問・4問正解したら …… 2の段階 |
| 5問・6問正解したら …… 3の段階 | 7問・8問正解したら …… 4の段階 |
| 9問・10問正解したら …… 5の段階 | |

【小学校】

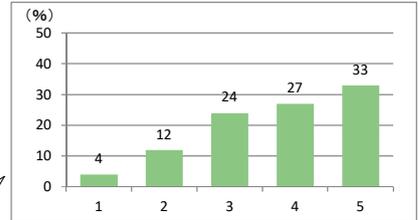
〔国語〕



- ・3から5の段階の割合は、全体の85%で、1から2の段階の割合は、全体の15%である。このことから、概ね定着が図られている。
- ・「自分の考えをまとめて書く」問題についての正答率は若干低かった。

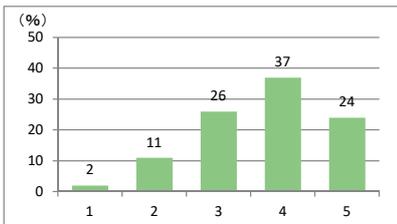
【中学校】

〔国語〕



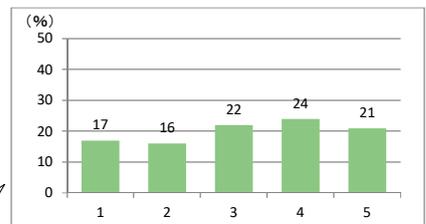
- ・3から5の段階の割合は、全体の84%で、1から2の段階の割合は、全体16%である。このことから、概ね定着が図られている。
- ・極端に正答率が低い問題がなく、「文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ」問題の正答率は高い結果であった。

〔算数〕



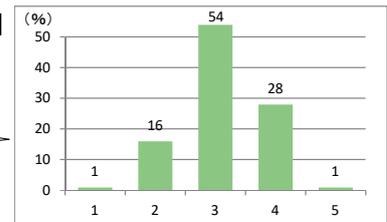
- ・3から5の段階の割合は、全体の87%で、1から2の段階の割合は、全体の13%である。このことから、概ね定着が図られている。
- ・「自分の考えを記述する」問題は正答率が低かった。
- ・「台形の問題やグラフから分かることを読み取る」問題の正答率は、非常に高い結果が出ていた。

〔数学〕



- ・3から5の段階の割合は、全体の67%で、1から2の段階の割合は、全体の33%である。このことから、下位層を上位層へ引き上げることが課題である。
- ・関数に関する問題の正答率が、非常に低かった。
- ・正答率が8割を超えている問題が1問しかなかった。

〔英語〕



- ・4から5の段階の割合は、全体の29%で、3の段階の割合は、全体の54%、1から2の段階の割合は、17%である。このことから、平均的な理解の生徒がほとんどであることが分かる。
- ・正答率1割以下の問題が2問あった。
- ・英語で記述する問題の正答率がかなり低かった。

【改善策】

○今後、以下に示す事項について、本市の学力向上策の重点として取り組んでいく。

〔全 体〕(各教科)○各学校でしっかり学力分析を行い、児童生徒に足りない力を共通理解した上で、主体的・対話的で深い学びによる授業改善を図る。

○児童生徒に足りない力を付けるために、1単位時間の授業の中で、その力を高めるための時間確保を確実にし、学力の向上を図る。

〔小学校〕(国 語)○授業の中で書く時間を設定し、児童生徒に書かせることで、「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」力を育成する。

○「書くこと」を高めるために、他教科や家庭学習との連携を図り、書かせる時間を多く設定し、書く力を育成する。

〔算 数〕○「数と計算」「量と測定」が大きな課題なので、関係する単元を教育課程に明記し、意識して授業を行い、力を付ける。

○市教委から出す「今週の1問」で意図的に、「数と計算」「量と測定」に関する問題を出題し、授業等で確実にし、力を付ける。

〔中学校〕(国 語)○内容を整理して書いたり、話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ時間を授業の中で設定し、力を付ける。

○必要に応じて質問したり、相手に的確に伝えたりできるような対話や交流を取り入れた学習活動を充実させ、力を付ける。

〔数 学〕○「関数」領域に関する単元を教育課程に明記し、意識して授業を行い、力を付ける。

○市教委から出す「今週の1問」で意図的に、「関数」に関する問題を出題し、授業等で確実にし、力を付ける。

〔英 語〕○記述に慣れさせるために、思考・判断を問う発問を取り入れた1単位時間の学習の流れを工夫し、力を付ける。

○「書くことが」課題なので、授業中に確実に自分の考えを書かせる活動等を取り入れ、生徒の書く力を育成する。